

# 肥沃度上げる土作り

## スガノ農機を訪問 デモ実演や工場見学

横田農場見学後、スガノ農機を訪問した。はじめに、ボトムプラウ、バーチカルハロー、レーザーレベラーの3機種の実演を見学。ボトムプラウは、深耕、反



デモ実演で注目集める



土の館・分館

とまっている。

バーチカルハローは、プラウ作業後の耕起された表層の凸凹を碎土、整地、鎮圧して、播種や移植前の床づくりの準備を行う。可粉砕をしないことで、雨が降ったりしても染み込みを防ぎ、丁度良い塩梅に仕上げる。

レーザーレベラーは、

レーザー装置の自動制御によって、初めて扱う場合でも簡単に高低差±2.5cmの精度で水平平均作業ができる。実演したけん引式レーザーレベラーは、圃場をぐるぐる回すだけで、土が移動し、均平化できる。水田農家に絶大な支持を誇っているが、最近では、大区画化による生育ムラの改善に役立てようと、畑作農家からの需要も増えている。

続いて、スガノ農機が運営している「土の館」の分館を見学。土の館は北海道上富良野にあり、機械遺産、北海道遺産にもなっている。茨城県の同社敷地内にある分館でも、110年前のクラシックトラクターや、世界の農耕の歴史が学べる鋤や鍬、プラウ等がズラリと展示され、見学することができる。

その後の工場見学では、塗装や溶接、熱処理等のラインを見学。その性能を体感できるアトラクションを楽しみながら、モノづくりの現場を実感。スガノ農機では、茨城工場での研修・工場見学の受け付けを随時行っている。

農作業学会の現地見学会でスガノ農機を訪問  
農村ニュース(7月6日)